

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月7日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東  
 コード番号 4921 URL <https://www.fancl.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員CEO (氏名)島田 和幸  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画本部長 (氏名)小峰 雄平 (TEL)045-226-1200  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	78,954	0.0	6,442	△23.5	7,277	△18.1	4,358	△32.9
2022年3月期第3四半期	78,916	△8.3	8,426	△3.0	8,888	0.5	6,492	5.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,574百万円(△31.0%) 2022年3月期第3四半期 6,633百万円(8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	36.05	35.91
2022年3月期第3四半期	53.80	53.58

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	101,882	75,213	73.2
2022年3月期	100,121	74,073	73.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 74,602百万円 2022年3月期 73,432百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2023年3月期	—	17.00	—		
2023年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,500	3.4	9,800	0.3	10,680	2.7	6,950	△6.4	57.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	130,353,200株	2022年3月期	130,353,200株
2023年3月期3Q	9,427,256株	2022年3月期	9,677,463株
2023年3月期3Q	120,899,488株	2022年3月期3Q	120,672,368株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2023年3月期3Q 210,515株、2022年3月期 211,500株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、栄養補助食品関連事業が増収となったものの、化粧品関連事業は国内の店舗販売が振るわなかったことや、海外が中国ロックダウンの影響などにより減収となり、全体では78,954百万円(前年同期比0.0%増)となりました。営業利益は、お客様基盤拡大のために広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、6,442百万円(前年同期比23.5%減)となりました。経常利益は7,277百万円(前年同期比18.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,358百万円(前年同期比32.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①化粧品関連事業

## 売上高

化粧品関連事業の売上高は、44,176百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

	2022年3月期 前第3四半期連結累計期間		2023年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	32,436	72.7	32,226	73.0	△0.6
アテニア化粧品	10,583	23.7	10,426	23.6	△1.5
boscia(ボウシャ)	794	1.8	594	1.3	△25.2
その他	797	1.8	929	2.1	16.6
合計	44,611	100.0	44,176	100.0	△1.0

	2022年3月期 前第3四半期連結累計期間		2023年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	23,045	51.7	24,066	54.5	4.4
店舗販売	10,121	22.7	8,847	20.0	△12.6
卸販売他	6,391	14.3	7,313	16.6	14.4
海外	5,053	11.3	3,949	8.9	△21.8
合計	44,611	100.0	44,176	100.0	△1.0

**ファンケル化粧品**は、広告宣伝を強化したことにより、通信販売および卸販売他が伸長したものの、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、店舗販売および海外が減収となり、32,226百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

**アテニア化粧品**は、国内は「スキんクリア クレンジング オイル」や、スペシャルケア製品が好調だったものの、海外が中国ロックダウンの影響などで減収となり、全体では10,426百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

**boscia(ボウシャ)**は、リアル店舗向けの卸販売が振るわず、594百万円(前年同期比25.2%減)となりました。

## 営業損益

損益面では、販売促進費の効率的な使用に努めたものの、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、営業利益は4,893百万円(前年同期比19.4%減)となりました。

## ②栄養補助食品関連事業

## 売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、30,060百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

	2022年3月期 前第3四半期連結累計期間		2023年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	13,064	44.6	13,714	45.6	5.0
店舗販売	5,001	17.1	4,376	14.6	△12.5
卸販売他	7,554	25.8	8,888	29.6	17.7
海外	3,653	12.5	3,080	10.2	△15.7
合計	29,273	100.0	30,060	100.0	2.7

**国内**は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、店舗販売が減収となったものの、広告宣伝を強化したことにより、通信販売および卸販売他が伸長し、増収となりました。

**海外**は、中国向け越境ECにおいて、ロックダウンの影響や、現地の在庫調整により減収となりました。

## 営業損益

損益面では、売上増により売上総利益が増加したものの、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、営業利益は2,718百万円(前年同期比26.6%減)となりました。

## ③その他関連事業

## 売上高

その他関連事業の売上高は、4,717百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

	2022年3月期 前第3四半期連結累計期間	2023年3月期 当第3四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,526	1,503	△1.5
青汁	1,601	1,531	△4.4
その他	1,903	1,682	△11.6
合計	5,031	4,717	△6.2

## 営業損益

損益面では、減収となったものの、発芽米の売上総利益率の改善などにより、営業利益は89百万円(前年同期は20百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて1,760百万円増加し、101,882百万円となりました。この要因は、流動資産の増加3,784百万円および固定資産の減少2,023百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,164百万円と現金及び預金の増加2,040百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、減価償却等による有形固定資産の減少2,099百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて620百万円増加し、26,668百万円となりました。この要因は、流動負債の増加348百万円と、固定負債の増加272百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、未払消費税等の増加などによる流動負債「その他」の増加806百万円および賞与引当金の減少593百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、役員株式給付引当金の増加110百万円と、リース債務の増加などによる固定負債「その他」の増加152百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,140百万円増加し、75,213百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加4,358百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少4,114百万円および自己株式処分等による自己株式の減少522百万円と資本剰余金の増加186百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.1ポイント下落し、73.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきまして、2022年11月4日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,108	32,149
受取手形及び売掛金	11,916	14,081
商品及び製品	5,518	5,612
原材料及び貯蔵品	5,610	5,419
その他	2,553	2,215
貸倒引当金	△101	△87
流動資産合計	55,605	59,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,715	34,372
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,103	△19,632
建物及び構築物(純額)	15,611	14,739
機械装置及び運搬具	16,783	16,879
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,326	△11,436
機械装置及び運搬具(純額)	6,456	5,442
工具、器具及び備品	9,981	9,905
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,435	△8,598
工具、器具及び備品(純額)	1,546	1,306
土地	14,214	13,914
リース資産	205	369
減価償却累計額及び減損損失累計額	△127	△202
リース資産(純額)	78	167
その他	-	136
減価償却累計額及び減損損失累計額	-	△28
その他(純額)	-	107
建設仮勘定	34	164
有形固定資産合計	37,941	35,842
無形固定資産		
その他	2,587	2,498
無形固定資産合計	2,587	2,498
投資その他の資産		
投資有価証券	125	125
その他	3,860	4,026
投資その他の資産合計	3,986	4,151
固定資産合計	44,516	42,492
資産合計	100,121	101,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,431	3,177
未払法人税等	1,271	1,148
契約負債	2,461	2,964
賞与引当金	1,234	641
資産除去債務	2	11
その他	5,971	6,778
流動負債合計	14,373	14,721
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,100	10,062
役員株式給付引当金	108	219
退職給付に係る負債	880	951
資産除去債務	496	472
その他	89	242
固定負債合計	11,675	11,947
負債合計	26,048	26,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	12,003	12,189
利益剰余金	70,766	71,011
自己株式	△20,003	△19,480
株主資本合計	73,561	74,515
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	100	255
退職給付に係る調整累計額	△228	△168
その他の包括利益累計額合計	△128	87
新株予約権	640	610
純資産合計	74,073	75,213
負債純資産合計	100,121	101,882



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	78,916	78,954
売上原価	26,252	25,841
売上総利益	52,664	53,112
販売費及び一般管理費	44,237	46,669
営業利益	8,426	6,442
営業外収益		
受取利息	38	38
受取配当金	0	0
為替差益	199	685
受取賃貸料	99	89
雑収入	164	127
営業外収益合計	502	941
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産賃貸費用	9	6
貸倒引当金繰入額	-	50
雑損失	30	49
営業外費用合計	40	106
経常利益	8,888	7,277
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	25	5
減損損失	14	128
店舗閉鎖損失	31	65
支払補償金	20	-
その他	3	-
特別損失合計	94	199
税金等調整前四半期純利益	8,793	7,077
法人税、住民税及び事業税	2,062	2,517
法人税等調整額	239	201
法人税等合計	2,301	2,719
四半期純利益	6,492	4,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,492	4,358

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	6,492	4,358
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	86	155
退職給付に係る調整額	54	60
その他の包括利益合計	141	215
四半期包括利益	6,633	4,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,633	4,574
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、ASC第842号「リース」を適用しております。これにより、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、使用权資産は有形固定資産の「その他」に、リース債務は流動負債の「その他」および固定負債の「その他」に含めて表示しております。なお、当該会計基準の適用による四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	44,611	29,273	5,031	78,916	—	78,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	44,611	29,273	5,031	78,916	—	78,916
セグメント利益又は損失(△)	6,075	3,701	△20	9,756	△1,330	8,426

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,330百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	44,176	30,060	4,717	78,954	—	78,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	44,176	30,060	4,717	78,954	—	78,954
セグメント利益	4,893	2,718	89	7,702	△1,259	6,442

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△1,259百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。